

メディアとの連携による機運醸成等に関する取組事例

<千葉日報>

○シンポジウム「今知ろう！パラリンピック」

平成29年1月20日に障害者スポーツとパラリンピックについて、県内有識者等の理解と知識を深めるシンポジウムを開催（千葉日報主催、千葉県後援）。推進会議関係者、自治体職員、経済界等から約200名が参加。

<プログラムの内容>

- ・開会挨拶：千葉県知事（来賓）
- ・基調講演：千葉市長、パラリンピックホストセンター理事長
- ・パネルディスカッション：
パラリンピアン、順大准教授 等
- ・県の取組報告

<千葉テレビ>

○3年前イベントにおける連携

千葉県・千葉市が共催するオリンピック・パラリンピックの3年前イベントの運営に参画。情報番組「シャキット！」や「スポーツイチバン☆（ボシ）」内で、イベントの事前告知や実施状況の放送を実施（4回）。

<ベイエフエム>

○サーフィン競技及び九十九里・外房地域PRのための啓発グッズの作成・配付

九十九里・外房地域の16市町村のサーフスポットやサーフィン競技の概要や見どころを紹介するうちわを作成し、ベイエフエムが展開するサマーキャンペーンの中で訪問する大型商業施設等で配付。



○スポットCM・番組の放送

機運醸成期間に合わせてサーフィン競技が釣ヶ崎海岸で開催されることを周知するためのラジオCMを制作・放送（期間中に20秒のスポットCM65本）。また、7月～8月の土日朝のラジオ番組内コーナーにて、九十九里・外房地域の海辺の魅力をPRする放送を予定（16回程度）。

<NHK千葉放送局>

○パラスポーツフェスタちば

昨年に引き続き、千葉県・千葉市等で構成する実行委員会とNHK千葉放送局の共催でパラスポーツフェスタちば2017を開催予定。



昨年度の実施状況
(競技体験会、パラリンピアンのトークショー)